

京都市岡崎北御所町
青木京染商店

發行日五月廿日二回	編輯兼 印刷人 發行人 鈴木昌雄	福島縣石城郡平町 材木町卅二番地	發行所 磐城經濟新報社	廣告 五張語字詰一行廿 錢場所指定拾錢增	新聞 定價 一部十錢月二十錢 一年貳圓四十錢
-----------	---------------------------	---------------------	----------------	----------------------------	---------------------------------

盤旋をして、事業上にすきを
與へずして常に潑測として堅
張味を持たせようとするにや
先づ老廢の氣を排さねばなら
ぬ。

椅子に据ゐることはないが、労働當を得ないのではない、労働従業員を、收攬し（様々な趣味に於て）目醒めんとして漸く發芽状態にある労働階級を操縦して其處に會社と事業と労働者がピツタリとし、旋盤觸を保ち得るの手腕と豊かな思想と感情と意志とを有する人物でなくては蓋し好材とは云ひ得ない。

猪狩千勝君
を中止する

野崎滿藏

此の点になると濱崎君はせめても、
 である、彼は資本主義思想の
 權化である、労働運勞や、整
 勵階級に些の理解をもてぬ可
 哀愼な男なのである、こふ
 た人物、こふした既に思想的
 老廢の域に達した濱崎君は、
 到底勞務課長の器でないこと
 は、既に業に、磐炭内部に於
 ても、一般従業員間に於ても、
 認めてゐる、濱崎君は夫れ程
 人氣が無、墜ちてゐる證々
 であらう。

南者をして從來猪狩君が、
如き交情と些の隔りのない間
先生と會見して懇談致しま
何等の意志もなく、全く白紙
猪狩君も亦漆畑先生が其意主
く等しく白紙主義で敬意を表
明されたのであります、斯様
ぐに至つた原因を想象するに
を弄する者があるに依るもの
氏獎一切を不省私に一任せら
たのであります。故に猪狩君
を以て前號限中止する事
私から特に御報告して措く

郡内各郵便局に於ける郵便年金制度實施以來の加入者數は左の

濱崎君一人ばかりではない。事務部長といふ格である。青沼鋒太郎君亦老廢に達して、動脈の遅緩と、思想の逡巡と低滯した点に於て濱崎君と好一對である。青沼君の官僚主義は止むを得まいしても、濱崎君の官僚臭味の濃いのは、實するに老廢した一つの現れで

郵便年金加入 石城
 郡内各郵便局に於ける郵便年金
 制度實施以來の加入者數は左の
 如し。
 ▲小名濱三十 ▲綴二十九 ▲四
 倉二十六 ▲泉二十四 ▲湯本十
 四 ▲上平十三 ▲江名十 ▲植田
 六 ▲木戸六 ▲草野四 ▲内郷二

前年より三萬圓増加

前年より三萬圓増加
北地方の酒の密造は稅務當
防止宣傳と取締とに依つて
減少しつゝあつたが昨年四
降本年三月末までに徴收さ
密造罰金額は前年より二萬圓

一名二の城石

元年度の棄兒養育に在る、乃ち正を養ひ慶を精
數は國庫費養育數に以て六合を兼ね八紘を掩ふの
四人、養育費八十大理想ある所以で、之れやがて
一圓で地方費二人唯神道であり、王道であり、同
二十三圓、私費一時に、天皇の大御心である。萬
石、達してゐるが、邦に冠絶する我が皇室、國民
郡麻郡二名、石城郡斯民一國体の尊嚴國民の使命は
郡一名、福島二名で實に唯この一点に在するもので
ある。

をして讀み續けさせる力があ

勞働争議 五人殺しに相亞
で磐炭の大惨事、入山の勞資
戰、石城には事件數の多い点
に於て、新聞記事を賑やかす
事はたしかだ、近來の事件と
して右の四大事件は新聞社を
通じて全國に響いたものであ
る。

時報は近頃ユーモアに富んげ
編輯日記を書いてゐるが、あ
れなごも目をつけて讀者は面
白く讀むものである。

國家の興亡は必ず政治

に準すること古今東西皆其撥
一にする所である。我が國神
肇國の天業は全宇宙間に最高

未拂込資本金	五〇,〇〇〇,〇〇〇
--------	------------

未拂込資本金	五〇〇〇〇〇〇
商品勘定	二六、九三〇・七
受取手形	三三、六〇〇
得意先勘定	二六、三六五
預金及現金	二、六三〇・七
諸貸金勘定	二、五七三
假拂金勘定	三五、三

負債ノ部	資本金
100,000.00	100,000.00

假受金勘定	一八三・一五
仕入先勘定	二二・六六・四〇
未拂金勘定	三〇三・九〇
當期純益金	四・六四・一八

金貳千七百五拾圓也
配當金(年六朱

金參百九拾四圓拾八錢也
後期繰越
右之通相違無之候也
昭和二年二月

取締役社長 百澤易
取締役 百澤才八郎

同	監查役	同
殿木	阿部政右衛門	殿木
松井		豐永

菊多實科
中等學校生る

石城郡植田、山田、錦一町二ヶ村共立の菊田高等小學校は廢校となつたので、兼て安島重三郎金成通、古川傳一の諸氏を始めとして菊多會の山崎登氏其他の有志が奔走して菊多實科中等學校を設立すべく運動中であつたが、愈具體化し、近く認可さるゝ運びに至つたが、來月一日より開校する筈にて、入學資格は第一學年は高等小學二ヶ年卒業者、第二學年は高等小學三ヶ年卒業又は此と同等の學力あるもので修業年限は二ヶ年であるが、學科は中等程度の教育を施すもので本科は中等程度の學科の外に農業、商業を加へ、女子には家事裁縫、唱歌を加へ、裁縫専修科は商業、家事、裁縫の外に農業其他普通學科が課されてある募集人員は本科一年百名、二年若干名である。

命生清日

東京市

丸の内

なるほど安い

利益配當附

共榮養老保險
普通養老保險

その評判は天下に普き
我社の新種保険にたは
いり下さい
これは安い！ と模手
を打たれなかつたなら
ば、アナタは一生幸福
と背中合せに暮らし
になるでせう！！

社長
池田龍一

石城兩派幹事長の一騎打

鈴木辰三郎氏に迫らす

若松美三氏は焦る

各々異つた兩氏の面目

石城政友會の幹事長鈴木辰三郎氏は何人としてもあつらひむきの名幹事長である、同氏が少くとも幹事長の椅子にある以上は如何に憲政派の勢力が向上し擡頭するとも政友の潜勢力は尙平乎として抜く可からざるものがある、鈴木幹事長は青年時代から政治に興味を感じ或る日政友會の集會の席上に臨んだが、名も無き一青年に何んで一目だつて目を懸けるものがあらう。

この日は大御所白井博之氏を始め高岡、山崎、安島の御歴が綺羅星の様に並んでゐた鈴木氏は一顧だも與へられぬ自分の余りに小さく逃げける様家へ歸り、コリヤぞよしでも金がなくちや、問題にならぬわいと痛切に感じ、爾來刻苦精勵現在では、石城政友の中堅として、氏の一舉一動が石城政界に投ずる謎となり影となり、それはど同氏の行

常に、自己を忘れて黨の爲めに盡す其熱情だけでも滿場一致其當選を計るのも當然の事であらう。

石城政友幹事長鈴木辰三郎氏が縣議戰に馬首を進める事は既定の事實であるが、石城憲政會幹事長若松美三氏も亦縣議戰に乗り出す事も既定の事實である兩派幹事長の一騎打ちといふ所で、蓋し滿目集中の興味を陵ることは確だ。

あるし、若松氏には冷淡さがある、一方の重みに引き換へ一方は余りに輕さがある。

□

鈴木氏は焦せらず、迫らず、縣議戦に乗り出さうとしてゐるに反し、若松氏はあせり氣味である、其一例として、同氏が、支部幹事長釘本衛雄氏との對話を引く。

若僕も、今度こそは縣會に出てもよきやうなものだ、僕は出る。

いと言つてゐるよ、しかも
君を推薦して金まで君に寄
附せねばならぬまいとさへ、
影では心配してゐる野崎君
だ、君の想像はあまりに男
らしくないね」

□

憲派幹事長若松美三氏の一面
はこの一談話に依つて、政友
派幹事長鈴木辰三郎氏と其
格に於て自ら輕重がにじみ
出てくる、石城政友の潜勢
力の侮り難いのも亦決して
故なしとしないであらう。

金「よからう」
若「しかし、どうも野崎君も出
たがつてゐるから、何んぞ
か君の方からでも出ないや
うにして呉れ給へ、野崎君
が出る、僕も困るから」
釘「それは、君のひがみ根性だ
よ、野崎君は、今度はお出な

編輯室 大瀧發電所問題に絡まる行政裁判所の公判も愈々結審となつて近く判決があるようであるが、若し其判決が平町の敗訴となつた場合は、従來反對し來つた人々、及び町當局はどんな態度に出るのか、これは見ものだ。

町の費用が、これが爲めに可成り莫大なものとなつてゐる。こうした責任上伏見町長は當然辭職するだらうとは町民一般の輿論となつてゐるらしい。水道課長は勿論のこと、反對してきた一部町會議員諸君も亦町民に謝さねばなるまいが、其形式は町議辭職といふ事より途があるまい。

百三十余名の生靈を犠牲として社會は何れも同情の涙を流さぬものがない時、去る三十一年の晩間會社の幹部連は酒のみをしてゐる、其夜、尼子亭前で自動車から降りて吸はれる様に尼子亭に這入つて、徹宵酒色に耽つたのは磐炭の役員であつた。

この調子だから事件に次ぐ事件で社會に迄迷惑を懸けるのだ、幹部の大陶汰を施さねば磐炭は到底救はれない。

多年磐陽の操觚界に侃々諤々の議論を吐き、一方の言論の雄將として其歩みを印してゐた報知新聞の高橋要治君も遂に、病には勝てず近く故山に病を養ふ可く住み入れた平の地を去らんとしてゐる。

我輩城時事研究會は、高橋君の思出多き平を去らんとして哀別の苦情を慰めんがため、心ばかりの送別の眞心を披瀝した。日刊同業者に於ても、何等かの形に於て、救済の途を講ずるでわらうか。

本邦保險界の覇王

日本生命保險の躍進

株名	拂込額	仲値
福島縣株式況	二〇、〇〇	二五、〇〇
福島農工	一五、〇〇	一九、〇〇
同新	五、〇〇	五、五〇
百七銀行	一五、〇〇	四、三〇
同新	一五、〇〇	四、三〇

福島貯蓄	二、五〇
同島商銀	五、〇〇
同銀	七、五〇
平銀	五、〇〇
磐城銀行	五、〇〇
磐越銀行	五、〇〇
四倉銀行	三、五〇

同郡安會本白三	山達津宮內春	銀實松銀高銀	新行銀銀行行
二五五五五五	五〇〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇〇
六五四	七四三三三	六三三三三	五三三三三
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

郡山商業	二五、〇〇	須賀川銀	五、〇〇	川俣銀行	五、〇〇	百一銀行	二五、〇〇	同盤城實業	五、〇〇	小濱實銀	五、〇〇	田島銀行	五、〇〇
	二六、〇〇		四二、〇〇		三七、五〇		四五、〇〇		一九、〇〇		四四、〇〇		四四、〇〇

同第一新	本宮電氣	同郡山電氣	會津電力	同第二新	同第一新	福島電燈
五〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇
五、〇〇〇	六、二〇〇	三、一〇〇	五、九〇〇	三、〇〇〇	四、〇〇〇	五、〇〇〇

人氣のの

山野邊東次郎君

同第二新	二松電	請戶川電	新濁電氣	植田水電	白河電燈	四倉電氣
二五〇〇	五〇〇〇	四〇〇〇	三〇〇〇	二五〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
同	桑折電氣	日東紡績	福島燃重	日本網二	飯坂電車	
二五〇〇	四〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	四〇〇〇	三〇〇〇	
同	大沼電燈					
二五〇〇	二五〇〇					

花見時の料理店と旅館

花見時の料理店と旅館

花は櫻木

花は櫻木
料理は
イワキ
美味で
評判の
イワキ食堂
平町縣社通り
電話四六〇番

大村屋旅館

大村屋旅館
大村一郎
電話一七五番

平町料理屋組合

平町料理屋組合

平藝妓屋組合

平藝妓屋組合

御料理から越
の家

御料理 越 電話 三三〇番 の家

割烹蒲燒
壽
夕
喜
亭

割烹蒲燒
壽
夕
喜
亭

電話 五八番

花見時の料理店と旅館

發行日五月廿日(一回)
編輯人 鈴木昌雄
印刷人 鈴木昌雄
發行所 磐城石城郡平町
材料 磐城石城郡平町

京染の權威

京都市岡崎北御所町
青木染商店

婦人病血道の妙藥
滋強第一
スポンジ
大坂東區全町
本舖 榎屋長命堂
全日本各都府支店
定價 圓壹・圓貳・圓伍
代理店 野邊藥局
平町五丁目

高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑士 佐竹菊雄
第二病室増設—入院隨時
電話 五三三番
平町字田町

内科 小兒科
花柳病科
藤沼醫院
(入院應需)
平町紺屋町
電話 平國五〇七番

和久井屋漆器店
漆器の御用なら
平町一丁目
電話 四〇五番

良品廉賣に勝る商略なし!!!
磐城モメント會社特約店
和洋銅鐵
釜屋商店
金物問屋
磐城平 電話 九三九番
確實敏捷は(久)の生命なり!!!

本邦最大最良の相互保險 千代田生命保險相互會社
千代田生命保險相互會社
株式主なき社會

生命保險の必要

今日節約して明日に備へませう

それには貯金を兼ねた生命保險をつけるに限りなく
對來に對する不安が除かれたとき初めて平和と力とが得られます
保險に加入するには基礎の確實な契約者本位の會社を選ぶ事が肝要です

●我社の現況

現在契約 (昨年末) 四億五千萬圓
新契約 (昨年末) 七千萬圓
創業以來我社が急がず休まず發展して來ました。前記の數字は正直に我社の現況を語るものです。

●我社の特色

- 一 契約者本位の相互組織
- 一 契約者共有の保險會社
- 一 堅實の經營鞏固の資産
- 一 保險金の支拂迅速寛大
- 一 最高率の契約者配當金

●契約者配當金 (正味保險料が最も安い)

昨年は五百廿四萬圓の剰餘金を得まして、其内四百五十一萬六千圓を契約者配當準備金に繰入れました。其結果本年度配當金左の通りであります。

甲種養老 保險金壹千圓に付き満期配當金四百九十七圓
乙種養老 契約の三年目から年掛保險料の四分五厘を累加配當をしてゐます。即ち大正十三年に御契約の方は四分五厘、十二年の方は九分、十一年の方は一分、十年の方は一分二厘、九年の方は一分四厘、八年の方は一分六厘、七年の方は一分八厘、六年の方は二分、五年の方は二分二厘、四年の方は二分四厘、三年の方は二分六厘、二年の方は二分八厘、一年の方は三分、初年度の方は三分二厘を配當する事となりました。保險料百圓に付き配當金及差引拂込金は左の通りであります。

年掛保險料百圓に對する												契約の年	配當金	正味掛金					
本年度實際配當金																			
明	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	一	七	二	八	三	九	四
治	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	二	六	三	五	八	四	〇
四	元	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	三	五	八	四	〇	〇	〇
十	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	四	五	六	七	八	九	〇
三	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	五	六	七	八	九	〇	〇
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	六	七	八	九	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	七	八	九	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	八	九	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	十	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	十一	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	十二	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	十三	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	十四	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	十五	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	十六	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	十七	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	十八	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	十九	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	二十	〇	〇	〇	〇	〇	〇

三年目から目下までの配當金合計は、正味掛金の四割七分五厘を超過する事となりました。

行實を當配加累の厘五分四らか目年三
みのるわ社我はるせ

代理店 平 順 野 草
一四町木材町平縣島福
目丁二町馬傳南區橋京市京東 社本
地番八四一丁目二町大市臺仙 部支臺仙

▲中之作 ▲豊間二 ▲上遠野や罰金額から見ると福島縣下を
二 ▲三坂 ▲上湯長谷 ▲藤原 激其地との扱ひをする事になつ
▲西小川 ▲勿來 ▲合戸 ▲八莖 た昨年度中の酒密罰金額を縣
▲平町新川町各一
昭和新政の
初頭に立ちて
荒川精一
株式百澤商店
第一營業報告